

北海道教育大学 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻

美術文化教育コース

平成 31 年度 入学試験問題

(岩見沢校 前期日程)

「小論文」

#### 出題の意図

美術作品を客観的に観る能力を問うたうえで、自分自身の体験やさまざまな知識についてより深く考えることができるか、また同時に、それらの体験や知識に関する考察から自分なりの意見を各自の関心に引きつけて明確にまとめることができるかを問う。

たとえば、小論文の内容としては以下のものなどが考えられる。

- ・美術を愛好する必要性や意義について記述する。
- ・美術を愛好する生き方を選び、働きながらも自らの技量を高める生き方について記述する。
- ・美術を通したコミュニケーション能力の育成について記述する。
- ・現代の高度情報化社会における感性の重要性にふれ、美術という非言語的伝達手段の有効性について記述する。

平成 31 年度北海道教育大学岩見沢校前期入学試験問題 小論文(美術文化専攻)解答例

解答例

問題で与えられた美術作品について客観的に描写したのちに、自分の芸術作品の制作体験や芸術家の作品制作の具体例を挙げたうえで、それらの事例に則しながら考えを述べる。その際、自分の体験や具体例はどのようなものでもかまわない。

たとえば、小論文の内容としては以下のものなどが考えられる。

- 芸術を愛好する必要性や意義について記述する
- 芸術を愛好する生き方を選び、働きながらも自らの技量を高める生き方について記述する
- 現代社会において心を癒す芸術の必要性について記述する
- 芸術を通じた被災地でのボランティア活動など、人に勇気や生きる力を与える芸術の役割について記述する
- 芸術を通じたコミュニケーション能力の育成について記述する
- 現代の高度情報社会における感性の重要性にふれ、芸術という非言語的伝達手段の有効性について記述する